

ピレリスーパー耐久シリーズ2019 第3戦 富士SUPER TEC 24時間レース が富士スピードウェイで開催されました。ここまで開幕戦でマシン全損、2戦目のSUGOではエンジントラブルでタイヤと本当に悔しいことが続きました。今回はドライバーは村上、雨宮は昨年の優勝メンバーでそこに中島、山谷、近藤を加えた5名で走ります。車両はスペアカーを富士用に燃料系から冷却装置まですべてを新規に製作して万全で挑みます。事前の公式テストではホンダのフィットがエンジンパワーを生かしてアドバンテージ、デミオが軽さを生かして速さを見せてます。そんな中ロードスターは予選は良いのですが決勝は厳しい状況になってます。



#### 5月30日木曜日 公式練習

金曜日の占有枠は朝から予選モードでタイムアタックしますが今回はデフをすべて新しくして24時間仕様になり少しアンダーが強い。これは24時間レースで耐久性と後半も性能を維持する為なのでこの仕様に合わせてセットを進めていきますがトップから1秒落ちでフィット勢には遅れを取る状況でクラス7番手と少し厳しい状況ですが最後に方向性が見えて来て予選のセットを決めました。



#### 5月31日 金曜日 公式予選

公式予選は午後1時からです。予選はA,Bドライバーの合算タイムで決勝のスタートのグリッドが決まります。まずはAドライバーの村上からです。前後の間合いを見ながらクリアの場所を探してアタック開始です。昨日のセット変更はいい方向に向かいすごく曲がるようになりました。6周目にフィットの後方でスリップを貰いながらセクターベストを繋げていきますがスーパーから最終コーナーでエンドレスの86に並ばれてしまい大きくロスをしてしまいクラス5位。Bドライバーの雨宮は単独走行でラスト1周に最高の走りでクラス3位のタイムで合算で3番グリッドを獲得します。が、後で1,2位にペナルティーがありポールポジションになりクラスの先頭でスタートになりました。

#### 予選 ST5クラス クラス1位



#### 6月1日～6月2日 決勝 24時間レース

決勝はPM3時からになります。スタートドライバーは村上です。24時間レースですので周りのペースに合わせて序盤は様子を見ながらペースをあげていきます。ということでいきなり5台位に抜かれますがフィット勢のペースが落ちてきたところでペースを少し上げて1台ずつ抜いていき淡々と走りますがここで無線がトラブルでメインのストレート以外繋がらない状態。45周のスティントで近藤に交代。近藤は今回が24時間初参戦と言うことで序盤はペース配分に苦しまますが徐々にペースアップして予定通り45周走って雨宮に交代。この時点でフィット、マツダデミオのペースには1秒近く遅れており1周の遅れになります。



#### 6月1日 PM6時半～ナイトセッション

ナイトセッションは雨宮から山谷、中島と繋ぎ安定した走行でラップを刻んでいきます。PM8 時半には花火があがりイベントらしい雰囲気です。そして中島が走行時に SCY が入りますが無線が繋がらない、万事休すと思ったのですが中島が機転を利かせて最高のタイミングでピットに戻りドライバーチェンジを完了。ここでまた上位とギャップを取り戻します。ここで雨宮と村上は早朝に備えて仮眠です。AM4 時過ぎに起きて状況は 3 位と言う感じです。マシントラブルの車両もあり上位 3 台が勝負の様子ですが上位のフィットはペースが速くて厳しいなあと感じながら少し明るくなってきた頃に村上がコースイン。ペースをあげていき良いペースでラップを刻み 3 位でそのまま走行。

#### 6月2日 AM5時～

そこから雨宮につなぎ 35 周を走ったラスト 10 分でコース上の SCY のタイミングでメンテナンスタイムに移行して 5 分のアドバンテージを得て 2 位に浮上してトップの 69 号車に 2 周差となります。村上はフレッシュタイヤでペースよく走り 69 号車をパスして 1 周差となりそのまま 45 周走りもう 1 度雨宮選手に交代。雨宮選手も順調に素晴らしいペースで走っているとトップの 69 号車のフィットがマシントラブルでピットで修復作業でストップ。10 時 40 分、ラスト 5 時間を切ったところでクラス 1 位に浮上です。そして山谷に交代時には 2 位と 3 周のアドバンテージとなり車両を労わりながら淡々と走行。13 時 38 分最後のスティントは中島が乗り込みます。とにかく 2 位とは大きな差があるので車両を労わりながら接触をしない様に走ります。ピットでは全員が祈るようにモニターを見つめます。そして PM3 時の 24 時間レースを ST5 クラスのトップでチェッカーを受けて優勝。2 年連続のクラス優勝となりました。



#### 決勝 ST5クラス 88号車 クラス1位



#### 総括 チームオーナー兼ドライバー 村上

今回は開幕から2戦連続のリタイアということで流れが悪い中、しっかり準備をしてやることをやれば結果はついてくると信じて勝つと言う執念を持って挑みました。それでもライバル勢の進化は大きく戦闘力では劣ってる状況の中でドライバーはペースを守りしっかり走り、メカは作業を完璧にこなしてくれた結果が運を呼び込みクラス優勝に繋がりました。

本当にチーム全員の力、協賛頂いたメーカー様みんなでつかんだ勝利だと思います。また、マシンの全損で金的に厳しいことを告知しましたところたくさんのロードスターのオーナー様が支援して頂き本当にたくさんのファンに支えられていることを感じパワーを頂きました。本当に困ってる時に助けて頂き本当に感謝です。残り3戦となりマシンを更に進化させること、テストもしたいです。予算的に厳しくどんな体制であろうと1年間戦い抜きますのでぜひ少しでもサポートして頂ける様によりしくお願いします。